

環境委員会参考資料

令和元年11月20日

【議案第189号】

令和元年度川崎市自動車運送事業会計補正予算

参考資料：路線バス利用実態調査の実施について

交 通 局

路線バス利用実態調査の実施について

1 調査概要

- 市域全体の一体的かつ機能的な路線バスネットワークの充実に向けた取組を進めていくため、市域を運行する路線バスを対象に、利用者の実態を把握するため調査を行い、基礎データとして活用するものです。
- 調査概要としては、各バスの車内に2名の調査員を配置し、バス停ごとの乗降者の利用実態を把握するもので、多くの調査員を要することから、エリアを分割し、本年5月から7月にかけて南部エリアの調査を完了し、10月から中部・北部エリアの調査を予定しておりました。

2 受託者との調整状況

- 10月以降、中部・北部エリア（東急バス、小田急バス、市バスの一部）の調査の実施に向けて、調査を一括で受託した㈱ソニックスと調整を進めてきました。
- 受託者は、主に関西地方での調査実績を有していましたが、関東での知名度が低く、自社のみでの調査員の確保が十分できず、人材派遣会社による確保も行いましたが、当初予測し得なかった調査実施体制の不備等により、調査を中止する事態が発生しました。
- 以降、再調査に向けた実施体制の改善策について確認を行った結果、受託者から仕様書に定める業務を実施できないため、契約についての解除願の提出がありました。

<経過>

令和元年	5月28日	㈱ソニックスと契約締結
	10月10日	調査実施体制の不備等により、調査を中止 以降、再調査に向けた改善策等について確認
11月	7日	受託者から解除願が提出 以降、契約解除の手段中

3 今後の対応

- ①類似業務の実績がある複数の調査会社にヒアリングを行ったところ、先般の台風等を受け、様々な業務が停滞しており、調査員の確保が難しく、年度内に中部・北部エリアの全ての調査実施は困難であり、また、来年度についても、国の大規模な調査等が控えているため、一括受注は難しいとの見解が示されました。
- ②来年度の早急な調査の実施に向け、十分な準備期間の確保も含め、今年度中に契約を行う必要があるため、この12月議会に、今年度から来年度までの2ヶ年の債務負担行為を設定する補正予算の議案を提出するものです。
- ③契約に際しては、調査会社へのヒアリング等を踏まえ、調査を着実に実施していくため分割発注にて行い、それに伴う諸経費増、調査実施体制の一層の充実等を図るため、これに要する経費として160,000千円を計上するものです。

4 取組スケジュール

- 令和2年2月頃 契約（予定）
- 令和2年4月～ 春と秋に分割し、順次、利用実態調査を進めるとともに、令和2年度末を目途に、路線バスネットワークの充実に向けた取組の方向性を取りまとめまいります。